

行財政改革待ったなし！ ～持続可能な茅野市であるために～

Vol.12 公共施設のあり方に関するアンケート結果について

茅野市は、昭和50年代から平成初期にかけて市民サービスの向上と都市機能の充実のため多くの公共施設を整備しました。これらの施設は老朽化が進むとともに、急激な人口減少と少子高齢化が進むなか、公共施設に対する住民ニーズの変化もあり活用されていない公共施設や、管理運営面でさらに工夫が必要な公共施設があるなど多くの課題を抱えています。

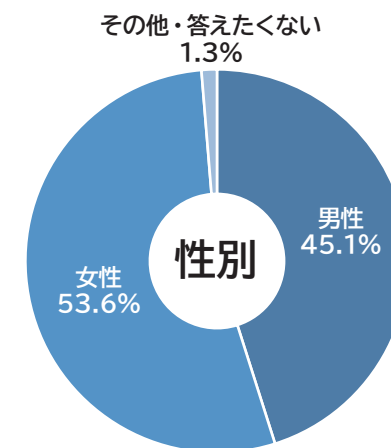
そこで、茅野市では無作為抽出した18歳以上の市民3,000人を対象に、公共施設のあり方に関するアンケートを実施しましたので、その結果の一部をお伝えします。なお、アンケート結果は今後の公共施設の方向性や再編を検討するための基礎資料とします。

調査概要

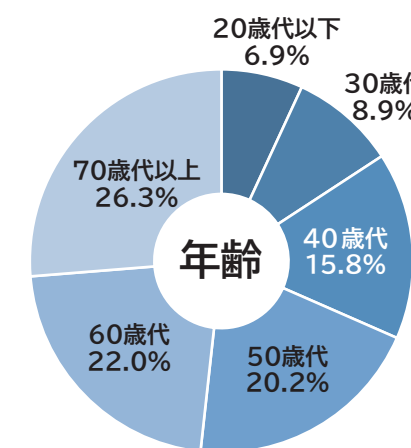
- 実施期間 令和6年6月19日（水）～7月10日（水）
- 調査方法 無作為抽出した18歳以上の市民3,000人にアンケート用紙を郵送。
回答は返信用封筒にて返送またはWEBフォームによる。

●回答者数 1,013人
●回収率 33.8%

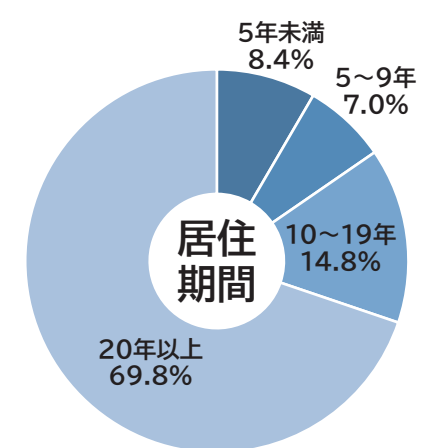
アンケート回答者の属性



【回答者数：1,006人】



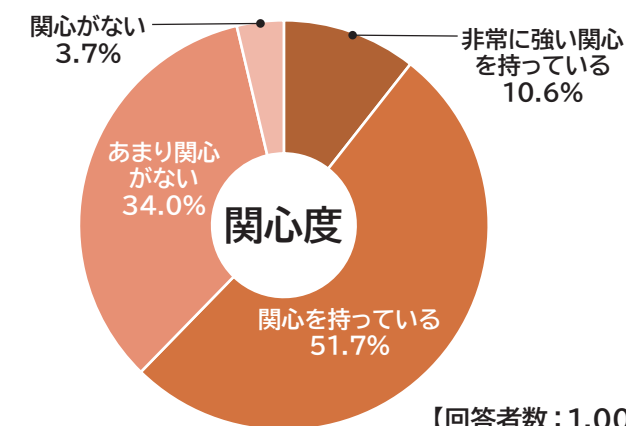
【回答者数：1,005人】



【回答者数：1,006人】

公共施設のあり方等について

公共施設の現状と課題についてどのくらい関心をお持ちですか？



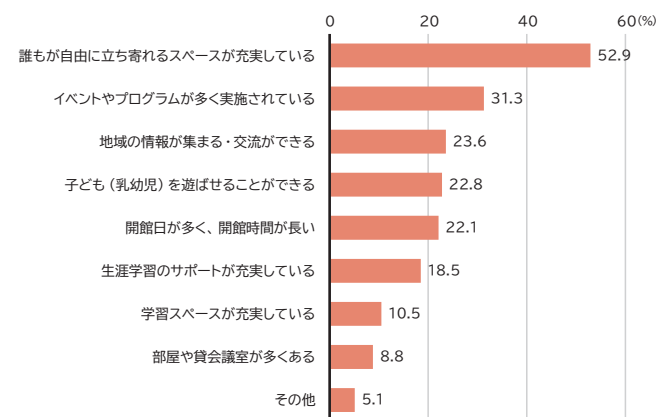
【回答者数：1,002人】

どのような施設の充実や拡充を求めますか？(2つ選択)

No.	施設名	割合
1	子育て支援施設	33.7%
2	保健福祉施設	29.0%
3	小中学校施設	27.2%
4	観光・産業施設	24.5%
5	温泉施設	18.5%
6	スポーツ施設	17.9%
7	図書館施設	14.5%
8	文化・芸術施設	9.8%
9	コミュニティ施設	9.3%
10	公民館施設	4.0%
11	博物館施設	3.5%
12	その他	4.4%

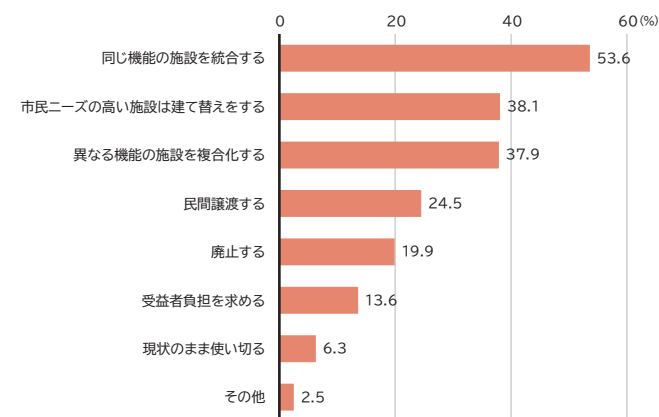
【回答者数：980人】

公共施設にどのような機能を求めますか？(2つ選択)



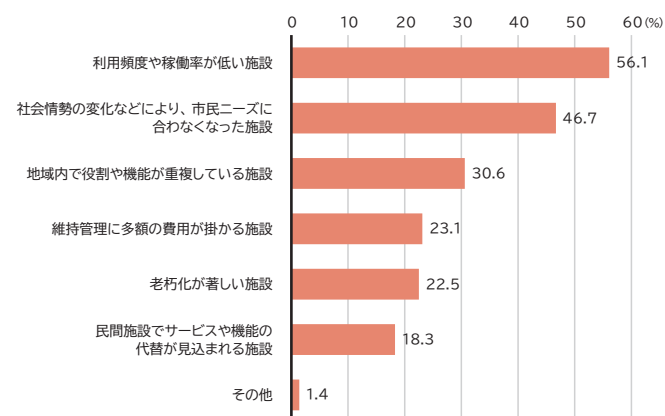
【回答者数：952人】

望ましい取組の方向性は？(2つ選択)



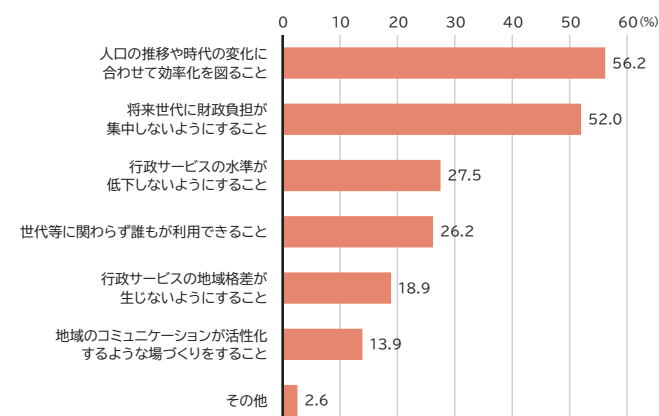
【回答者数：993人】

統合・複合化、廃止の対象とすべき施設は？(2つ選択)



【回答者数：986人】

再編にあたって留意すべき点は？(2つ選択)



【回答者数：983人】

優先的に投資していくべき施設は？(2つ選択)

施設名	割合
図書館	29.5%
温泉施設	29.5%
総合体育館	25.5%
公園施設	21.2%
市民館	19.3%
地区コミュニティセンター	14.4%
尖石縄文考古館	13.8%
スケートセンター	12.9%
陸上競技場	7.7%
中央公民館	6.7%
ひと・まちプラザ（ゆいわーく茅野）	6.6%
ハケ岳総合博物館	2.3%
その他	6.2%

【回答者数：967人】

優先的に廃止を進めていくべき施設は？(2つ選択)

施設名	割合
中央公民館	29.6%
ハケ岳総合博物館	28.8%
スケートセンター	22.4%
地区コミュニティセンター	19.1%
ひと・まちプラザ（ゆいわーく茅野）	18.9%
温泉施設	16.2%
公園施設	15.1%
尖石縄文考古館	10.2%
陸上競技場	8.8%
市民館	7.9%
図書館	5.3%
総合体育館	2.8%
その他	7.5%

【回答者数：914人】

このほか、市内の公共施設について、認知度や利用頻度、必要度などもアンケートをしています。アンケート結果を全てご覧になりたい方は、茅野市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

また、今回のアンケート結果をもって施設の存続や廃止等を決定するわけではありません。今後の公共施設のあり方について、ハード面だけではなくソフト面でも参考にしながら検討を進めていきます。

問 財政課 行革推進係 ☎72-2101（内線168）